

元町通りテーブル実施記録
(元町通り社会実験)

主催の移行に伴い、既に開発公社が主導して動くフェーズから離れており、元町通り商店会の自主運営となっているため、社会実験としての側面から事実を把握する簡易的な実施記録として作成している。

実施 2025 年 10 月 10 日から 12 日
報告 2025 年 11 月 4 日
一般財団法人武蔵野市開発公社

1 元町通りテーブルの概要

(1) 都市再生推進法人としての役割と目的

都市再生推進法人として、「市道 189 号（元町通り）」における新たな公共空間の在り方の模索」と「吉祥寺元町通り商店街振興組合（以下、「元町通り商店会」という）・三菱商事都市開発株式会社（以下、「MCUD」という）・武蔵野市開発公社（以下、「開発公社」という）の連携関係によるエリアのにぎわい創出」を目的に、吉祥寺グランドデザイン 2020 にも描かれた「まちなかにおける滞留空間」やNEXT 吉祥寺 2021 で示されている「まちなかの快適な居場所づくり」を創出する実験として位置づけ、2022 年 10 月に開発公社及び元町通り商店会の共催、2023 年 4 月より元町通り商店会の主催で実施し、今回は第 7 回目の実施となった。なお、今回も同期間の中で平和通りでも同時に平和通りテーブルを実施するタイミングがあり、吉祥寺の街に広がりを見せている。

(2) 実施主体

主催：元町通り商店会

(3) 開催日時

2025 年 10 月 10 日（金） 14 時～20 時

2025 年 10 月 11 日（土） 14 時～20 時 悪天候により中止

2025 年 10 月 12 日（日） 14 時～20 時

(4) 開催場所

- ① 武蔵野市道 189 号（元町通り）の一部 ※吉祥寺本町 1-11-5 地先（コピス吉祥寺 A 館前）
- ② 武蔵野市道 190 号（元町通りと 190 号線の交差点）の一部
- ③ 吉祥寺デッキ（コピス吉祥寺 A 館前と元町通りの間のウッドデッキ）

(5) 実施内容

- ① 道路の一部にテーブルセットを 12 セット、イーゼルを 1 台設置されていた。
- ② テーブルセットは誰もが自由に利用できるものとして運用されていた。

2 実施風景の写真



今回は吉祥寺デッキ上に酒類の販売のテント及びその飲食スペースが設置され、コピス吉祥寺からの通行も確保したうえで、吉祥寺デッキと元町通りテーブルが一体となる形式で実施した。なお、テーブル利用者や通行者が窮屈になっている印象はなかった。

(2) 備品の保管について

前回時同様、レンガ館の空きテナントのスペースを利用していた。

(3) 天候との関連について

今回は天候に恵まれず、過去と比較すると雨風や夜の気温など外のイベントを実施するには非常に厳しい気候であったが、そういったなかでも、日中は特に飲食を取らない高齢の方や子ども連れの利用が目につき、買い物等の合間にちょっとした休憩をするスペースが吉祥寺にはあまり多くないことが改めて想像される内容であった。

以上